

# みのわMACだより

## アル施連春のバレー大会

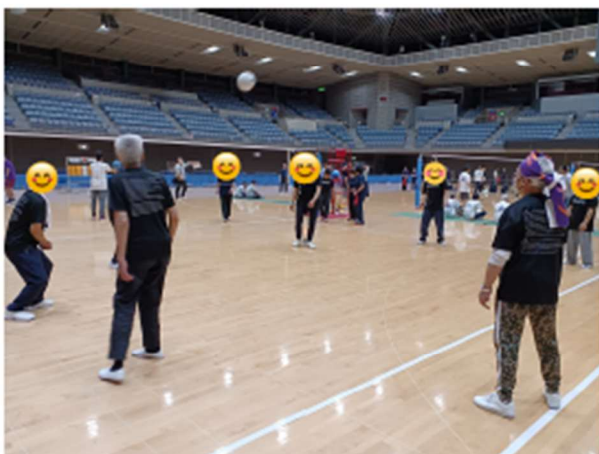
5月19日（火）、川崎市とどろきアリーナで開催された「アルコール・薬物施設連絡会 春の交流会（ソフトバレーボール大会）」にみのわマックも参加。「交流部門」トーナメントにエントリーしました。

交流会前には、滝野川体育館で事前練習。十分練習できたとはいえませんが、とどろきアリーナでの本番は、1点差で惜敗。他施設との交流やスポーツを通じてのリフレッシュで実りの多い一日となりました。



## ハウス・食事会

小雨の降る4月23日（木）、巣鴨にあるしゃぶしゃぶチェーン店で、初の試みであるハウス・食事会を開催。おいしい食事を食べながらの、心休まるひとときを過ごしました。



## 6月の外プログラム

- 3日（水）調理実習各班メニュー
- 7日（日）みのわマック48周年感謝の集い  
赤羽会館 9時～
- 13日（土）寿アルクセミナー  
かながわ労働プラザ3F 10～16時半
- 14日（日）さいたまマック感謝の集い  
さいたま市産業文化センター 10～15時

オープンミーティング  
毎月第3日曜日 PM6:00～7:30  
どなたでも参加できます。気軽にお越しください。  
主催：みのわマックOB

## アル中と出会ったのが運の尽き

野口 誠（社会福祉士、精神保健福祉士、公認心理師）  
（元 東京家政大学非常勤講師 教育福祉学科公的扶助論）

1987年の初夏だと思う。生活保護のワーカーになって一年目の私は、目黒区役所で開かれたアルコール依存症のある研究会に参加した。とにかく研究会というものは初めてだったので、緊張していた。参加者も15人ぐらいしかいなかった。私の隣とその隣にはおじさんが2人座っていた。医者にも役人にも見えなかった。研究会の合間に自己紹介と挨拶をした。私のすぐ隣は山本晋一（「山晋」）さん、その隣は石井隆さんだった。2人ともそれぞれみのわマックと山谷マックの施設長だった。

私はそれまで、福祉事務所の職員に回覧されるAAやマックの宣伝のチラシやリーフレットを見て、「こんな宗教的なところは使いたくない」「クライアントに宗教的な厳格な生き方を強制したくない」「だからこんな所は絶対に使わない」そんな考えを強く持っていた。ところが石井さんと山晋さんは、私の隣の席で、どちらがアル中として重症なのか？、今現在も、治っていないのか？それらを自分の重症自慢として始めた。どちらが酷いアル中なのかを競っていた。

初めてそんな場面に出会った私は、とんでもなく面白い人たちだと直感的に感じた。同じ時期、これまた偶然にもダルクの近藤恒夫さんとも知り合い、本当にいい加減な、でも魅力的な親父だと感じる事があった（これ、褒め言葉です！）。

だから私の、マックやAAの「厳格な宗教的人生修養施設」疑念は、一発で吹っ飛んだ。こんないい加減な人たちが宗教の坊主であるわけではない！

それ以降、私は山晋さんや近藤恒夫さんに不思議な信頼感を抱き、仕事で出会う「アル中」「薬中」の人たちをマックやダルクに紹介し続けた。

ある時仕事で、元ヤクザの「アル中」のAさんと出会った。福祉事務所中がこの人にびびりまくり、私に担当が回ってきた。私は福祉事務所長に条件をだした。この人はスリップしても私が必ず担当をつづけること。そしてこの人をみのわマックに紹介した。この人はマックになじんだが、それ以外のトラウマ症状が強く、何回もスリップした。ある寒い雨の夕暮れ。私はバスに乗っていると、傘もささず、ずぶ濡れに濡れながら車道の真ん中を歩く彼を見かけた。自分は死んでもいいと思う気持ちが痛いほど分かった。その後、彼との話の中で、ひどい児童虐待の被害があったことを聞く。

彼は正月に事故で突然死んだ。休み明けに連絡があり、私は山晋さんに電話をした。Aさんは身寄りも家族もいなかった。山晋さんは「俺が骨を拾いに行くよ」と言ってくれた。AAを少しでも理解していれば、彼の言葉は納得がいく。山晋さんにとって、亡くなった彼は利用者であるとともに仲間だった。

後年、同じようなことが書いてあるアメリカの推理小説に出会った。ローレンス・ブロックの「慈悲深い死」（富士見文庫）。主人公は今は自助グループで酒をやめているアル中探偵。登場人物が亡くなり、「あんな薬中の葬式には誰も来ない」といわれた。しかし、葬式に行くと、たくさんの自助グループの仲間が来ていた。

だから、山晋さんが特別なのではない。アル中の回復者たちが新しい文化を作っているのだと私は思っている。

安易に専門職などに頼り切らず（私も専門職です）、専門職ではとてもまねはできない、かつての山晋さんのような当事者性を持ち続けてほしいと切に願います。

## 春のバーベキュー交流会

好天に恵まれた4月11日（土）、春のバーベキュー交流会を赤羽自然観察公園で開催。当日は、みのわマックOBや他施設からの参加者も含め、約100名が参加しました。みのわマックの仲間は、裏方や焼き係として大活躍しました。



## 5月に卒業された利用者さんのお話

### K・I

みのわマックに入所して3年5ヶ月が過ぎました。アルコールで思いどおりに生きていけなくなり、施設につながって見たものの夢も希望も将来の見通しも考えることができませんでした。そのストレスが1杯の酒につながり、10ヶ月間、隠れ飲みをし、成増のアルコール専門病院に入院。飲酒で双極性障害を発症しましたが、3ヶ月間の入院中に改善できたことがよかったです。その後の期間を2・3週りやRDデイケアセンターなど、提案されたプログラムに積極的に取り組みました。スポンサーにステップを受け渡していただき、ストレスを感じたときは、報・連・相を意識しました。

ブランクがあり、働くことなんて考えられませんでした。マックで学んだことを実践してみたら仕事の有意義さを感じました。一人暮らしも始まり、仕事とAAとマックをバランスよく進めていくことが大事。飲まないでより良く生きていくのは一人では無理だと学びました。職員さん、仲間感謝の気持ちを忘れることなく、今日一日を大事にします。

グループホーム	13名	アルコール	13名
自主運営ホーム	1名	薬物	1名
入寮者	14名	ギャンブル	2名
自宅から	0名	その他	2名
合計	14名	合計	18名(延べ)

(2026年5月22日現在)

### 編集後記

今月号は、みのわマック初めてのイベント、利用者・スタッフ全員での外出にでかけました。夜のミーティングはお休みにして巣鴨にある「しゃぶ葉」でしゃぶしゃぶ食べ放題に行ってきました。

普段とは違う雰囲気、楽しそうな写真が掲載されていると思います。顔がにこちゃんマークで隠れているのが残念ですね。みなさんニコニコでした。

みのわマック 小野寺

特定非営利活動法人ジャパンマック  
障害福祉サービス / 自立訓練(生活訓練)事業所  
みのわマック  
東京都北区滝野川7-35-2  
03-5974-5091  
minowamac@japanmac.or.jp